

患者の皆様へ

2021 年 4 月 14 日
肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「新規膵臓癌 biomarker の測定系構築及び臨床応用に関する研究」を行っています。今後の膵癌早期診断に役立てることを目的に、この研究では膵疾患の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。膵癌の診断で 2010 年 1 月から 2020 年 12 月までに当科にて手術施行され、血清が保管されている患者様および膵疾患、肝・胆道系癌の患者様が対象です。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「新規膵臓癌 biomarker の測定系構築及び臨床応用に関する研究」

2. 研究の意義・目的

膵癌は切除が可能であっても、しばしば術後早期に再発、転移を来す最も悪性度の高い疾患であり、膵癌を克服し予後を改善するには早期発見が最大のテーマである。そこで本研究では、膵癌細胞株から分泌される糖鎖蛋白の網羅的解析から見出された候補蛋白の血清中の値を測定する系を構築し、新規血中膵癌バイオマーカーとしての意義を見出すことを目的としました。

3. 研究の方法

膵癌の診断で 2010 年以降（～2020 年）に当科にて根治手術を施行され、血清が保管されている患者さんが対象です。対象患者様の術前・術後血清を使用して血清中の発現値を測定・解析し、各患者様の性別、年齢、合併症、既往歴や採血、画像データ、および臨床病理学的因子や予後との関連を評価します。なお、本研究は千葉大学・麻布大学・富士フイルム和光純薬株式会社との 3 機関での産学共同研究で行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは匿名化された後、千葉大学および麻布大学にて解析されます。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

対象患者様の凍結された術前・術後血清サンプルについては、本研究の 3 つの研究機関である千葉大学・麻布大学・富士フイルム和光純薬株式会社にて測定・解析を行います。

サンプルの対象症例の診療情報については対応表による匿名化を行い、対応表については千葉大学臓器制御外科学医局（施錠されている）内の診療情報端末にパスワードを設定し保存します。パスワードについては研究責任者が十分に注意して管理いたします。研究者が研究で得られた情報を公表する際には患者が特定できないよう、十分配慮いたします。

6. 研究組織

研究組織と役割分担

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学 (TEL: 043-222-7171 (5282))

講師	高野 重紹	本研究の実務管理と遂行責任者、標本管理、統計データ整理
大学院生	宮原 洋司	タンパク質解析、患者データ収集、統計処理
大学院生	富澤 聡史	本研究の標本管理、患者データ収集、統計処理
教授	大塚 将之	本研究の管理と遂行の総責任

麻布大学

准教授 曾川 一幸 測定系の樹立および血清値の測定

富士フィルム和光純薬株式会社

臨床検査薬事業部 臨床検査薬学術研究本部 臨床検査薬研究所・主席研究員

山口 勲 測定系の樹立、並びに本試作品の製造

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 肝胆膵外科 医師 高野 重紹
043 (222) 7171 内線 72225

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

研究代表者 : 教授 大塚 将之